

えほんのおへや通信



2016年2月1日(月)発行 サンガこども園

今年のお正月はいかがでしたか？年明けから雨がほとんど降りませんでした、雪が降りました。大人にとって雪はやっかいです、子どもには最高の遊びとなります。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」2月号の紹介。

<p>こどものとも 0.1.2 10ヶ月～2歳向き</p> <p>「けんけん ぱっ」 にごまりこ作</p> <p>猫が「けんけん ぱっ」。犬も一緒に「けんけん ぱっ」。クマもリスもゾウまで加わって、思いもかけない「けんけん ぱっ」をします！</p> 	<p>こどものとも 年少版 2～4歳向き</p> <p>「もりのなかから」 福知伸夫作</p> <p>「もりのなかから おとうふやさんがぶっ ぷっ ぷっ／そのまた あとからおさむらいさんが えっへん おっほん／そのまた あとから おすもうさんがどっすん どっすん」……今度出てくるのは誰だろう？</p> 
<p>こどものとも 年中向き 4～5歳向き</p> <p>「おみまい」 土橋とし子作</p> <p>朝、熱があつて幼稚園を休まなければならなくなったまことくん。体はしんどいけれど、幼稚園のことがあれこれ気になって仕方ありません。泣きながら寝ていると、誰かがまことくに声をかけてきました。誰でしょう？</p> 	<p>こどものとも 5～6歳向き</p> <p>「やさいの おにたいじ」 御伽草子「酒吞童子」より つるたようこ作</p> <p>京の都に、おそろしい鬼が現れました。さらわれた娘たちを救うため、知恵と勇気のある6人が立ち上がります。絵巻物などで知られる鬼退治の伝説ですが、その姿をよく見ると、敵も味方も、なんと野菜です。</p> 
<p>ちいさなかがくのとも 3～4～5歳向き</p> <p>「さんかく さんかく」 平野恵理子作</p> <p>さんかく さんかく、どうやってつくる？ クレヨン3本ならべて、さんかく。点を3つ線でつなげて、さんかく。いろんなやりかたで、さんかくをつくってみよう。おりがみでつくるさんかくは？</p> 	<p>他にこんな絵本も購入しました。</p> <p>「おはなし ぎょうじのえほん 春」 堀切リエ／文 石井 勉・松田シヅコ・河野あさ子・村田エミコ／絵 5歳から 子どもの未来社</p>  <p>桃の節句やお彼岸など、春の行事のおはなしが満載です。「なぜ、おひなさまをかざるの？」「なぜ、おひがんにおはかまいりをするの？」、むかしばなしやゆらいばなしの読み聞かせを通して、桃の節句やお彼岸、端午の節句など、季節ごとにおとずれるさまざまな行事のあれこれを教える絵本です。「おたのしみ」コーナーでは、折り紙、遊び、料理など、行事の楽しみ方をわかりやすく紹介しています。</p> <p>※年齢は目安です。</p>
<p>【雑感】</p> <p>「寒三十日(かんみそか)」という言葉があります。寒の入りから節分までの約30日間を指すそうです。寒さが最も厳しい時期です。昔から日本人は自然とともに生きていく、という考えが強かったようです。寒さが来れば寒さを素直に受け入れて生きて行けばよいのだと思います。「冬きたりなば春遠からじ」。この言葉は、今は苦しくても、いつか必ず幸せになれるということを、季節になぞられてうたったのでしょう。じっと耐え忍ぶ日本人の姿が浮かびます。</p> 	